

# 理科 中学校 第1学年

## 出題の意図及び正答率(中1)

- 評価の観点等
- 1 科学的な思考
  - 2 観察・実験の技能・表現
  - 3 自然事象についての知識・理解

分野	問題番号			出題のねらい	評価の観点等			正答率
	大問	小問	通番		1	2	3	
第一分野	1	1	1	光が水中から空気中に入射するとき、境界面で光が屈折して進み、目に届くことを考えられる。	○			65.3
		2	2	光の屈折を身近な現象として適切にとらえている。	○			75.3
		3	3	光が空気中から水中に垂直に入射するときは、光はそのまま直進することが分かっている。			○	57.5
	2	1	4	力を、力のはたらく点、力の向き、力の大きさを示す矢印で正しく書くことができる。		○		69.2
		2	5	物体にはたらく重力の大きさと圧力の関係について考えることができる。	○			42.2
		3	6	圧力の求め方を用いて、圧力を正確に求めることができる。			○	32.1
		4	7	同じ重力であっても力のはたらいしている面積によって、圧力の大きさが変わること考えられる。	○			62.9
	3	1	8	薬品を正しく、安全に扱うことができる。		○		91.0
		2	9	食塩が水に溶けたときの様子を知っている。			○	65.9
		3	10	加熱してこげる物質は有機物ということが分かる。			○	63.3
		4	11	物質の様子や性質から、物質Aが、食塩であることを見つけられる。	○			67.7
		5	12	ガスバーナーの点火において、正しい操作を行うことができる。		○		43.5
	4	1	13	二酸化マンガんにオキシドール(過酸化水素水)を加えると酸素が発生することが分かる。			○	66.8
		2	14	水上置換を用いて、酸素を適切に捕集できる。		○		85.6
		3	15	酸素は、燃焼を助けるはたらきがあるので、酸素に火を近づけると火の勢いが増すことが分かる。			○	69.9
4		16	身近なもので二酸化炭素を発生させる方法を説明できる。		○		29.0	
5		17	石灰水の中に二酸化炭素を通したときの変化が分かる。			○	88.5	
第二分野	5	1	18	顕微鏡の各部の名称を理解している。			○	74.1
		2	19	顕微鏡を使って植物の茎の断面を観察する操作を身に付けている。		○		69.0
		3	20			○		59.3
		4	21	維管束の並び方から植物を分類することができる。			○	65.6
	6	1	22	光合成を調べる実験に用いるエタノールの役割について説明できる。		○		90.3
		2	23	光合成のはたらきとヨウ素液の反応を関係付けて考察できる。	○			62.1
		3	24	葉緑体の必要性を実験結果から正しく推論することができる。	○			63.7
		4	25	光合成によって発生する気体が分かる。			○	71.2
		5	26	条件を変えた実験から結果の違いを推論することができる。	○			78.2
		6	27	光合成により発生する気体が何であるかを検証するための実験の設定ができる。		○		71.0
	7	1	28	マグマのねばりけと火山の形の関係について考察できる。	○			56.6
		2	29	マグマのねばりけと噴火の様子との関係について考察できる。	○			63.0